

Japanese
Red Cross
Society

日本赤十字社は 皆様によって支えられています



日本赤十字社

福岡県支部長 服部 誠太郎
(福岡県知事)

拝啓 時下ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。

日本赤十字社福岡県支部の活動に対しましては、平素から格別のご理解とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

令和6年元旦を襲った能登半島地震では、医師、看護師、主事からなる赤十字救護班をはじめ、こころのケア要員を長期に渡り派遣し、被災者に寄り添い続けました。

赤十字の活動は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」、「目の前の苦しんでいる人を救う」という、赤十字の誕生以来変わらず守り続けてきた理念を軸としております。赤十字が活動を続けるためには、皆さまからのご支援が不可欠です。

今後とも各段のお力添え、ご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

福岡県支部

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

令和6年能登半島地震 日本赤十字社の対応

1.災害の概要

(1)概要[気象庁情報:2月5日8時00分 現在]

- ・発生日時:令和6年1月1日16時10分
- ・最大震度:震度7(石川県志賀町)
- ・マグニチュード:7.6
- ・震源地等:石川県能登地方
(輪島の東北東30km付近)深さ 16km
- ・1日16時以降、震度1以上を観測した地震が1,444回発生
- ・1日に大津波警報、津波警報が発令され、2日にすべての警報が解除

2.日本赤十字社の主な活動状況

(1)活動概況[2月5日10時00分 現在]

職員・ボランティア派遣

- 救護班 (DMAT含む)
延べ**241班**を派遣
- 日赤災害医療
コーディネーターチーム
延べ**66班**を派遣
- 支部支援要員
46人を派遣
- 赤十字ボランティア
延べ**1,068人**を派遣

救援物資の配布

- 毛布 **16,005枚**
- 安眠セット **5,230セット**
- 緊急セット **2,224セット**
- その他
携帯型簡易トイレ3,400個等

2.日本赤十字社の主な活動状況

(2)こころのケア※

こころのケアチームの派遣

- (ア)派遣人数:37名
- (イ)派遣期間:1月14日～
- (ウ)派遣元:本社、三重(伊勢赤十字病院)、
香川(高松赤十字病院)
- (エ)活動場所:石川県支部、石川県庁、七尾市、志賀町の
各避難所

※「こころのケア」とは災害によるストレスを軽減すること。

2.日本赤十字社の主な活動状況

(3)救援物資の配布[2月1日10時00分 現在]

配布先	毛布(枚)	安眠セット	緊急セット
珠洲市、輪島市、石川県支部		3,510	1,800
珠洲市、新潟市西区	25	540	
氷見市、輪島市	3,500	300	50
羽咋市、志賀町、中能登町、金沢市	780	290	374
珠洲市、穴水町、富山県支部	1,500	101	
穴水町役場	1,750		
能登町	900	150	
志賀町役場	750	225	
七尾市	800	114	
石川県支部	6,000		
合計	16,005	5,230	2,224



福岡県支部の活動状況

令和6年2月7日時点

救護班	派遣元	派遣人数	派遣期間	活動場所
第1班	福岡赤十字病院	8	1/4～1/8	輪島市
第2班	福岡赤十字病院	9	1/7～1/11	七尾市
第3班	福岡赤十字病院	7	1/10～1/14	七尾市
第4班	福岡赤十字病院	7	1/12～1/16	七尾市
第5班	今津赤十字病院	7	1/20～1/24	七尾市
第6班	福岡赤十字病院	8	1/31～2/5	能登町



みなさまに支えられている赤十字9つの事業

国内外で
たくさんの事業を
展開しているよ。



▼活動資金を財源とした事業

福岡県内では、これらの事業を日本赤十字社福岡県支部が主体となって行っています。

PROJECT 1

国内災害救護



日々災害に備えた訓練を実施し、災害に備えています。

PROJECT 2

国際活動



191の国と地域に広がる赤十字のネットワークを活かし、紛争や災害の救援活動から復興支援まで、世界各地で長期的な支援を行っています。

PROJECT 3

赤十字ボランティア



赤十字の基本原則のもと、地域のニーズに応じた活動を行っているほか、全国各地で赤十字事業の推進にあたっています。

PROJECT 4

救急法等の講習



いのちと健康を守るべく「救急法、水上安全法、健康生活支援講習、幼児安全法」の各種講習を実施しています。

PROJECT 5

青少年赤十字



保育園・幼稚園から高校までの教育現場で、赤十字の精神に基づいた実践目標を掲げ、児童・生徒の「気づき・考え・実行する」力を育んでいます。

▼活動資金以外の収入を財源とした独立採算事業

PROJECT 6

医療事業



県内3ヶ所の赤十字病院で地域医療に貢献しています。

福岡赤十字病院(福岡市南区)
今津赤十字病院(福岡市西区)
嘉麻赤十字病院(嘉麻市)

PROJECT 7

血液事業



日々、献血を実施し、24時間体制で医療機関へ血液を届けています。

福岡県赤十字血液センター(筑紫野市、北九州市)
九州ブロック血液センター(久留米市)
献血ルーム:
福岡市…おっしょい博多、キャナルシティ、天神西通り
北九州市…魚町銀天街、くろさきローバー

PROJECT 8

社会福祉事業



県内3ヶ所の特別養護老人ホームで質の高い介護サービスを提供しています。

特別養護老人ホーム大寿園(福岡市西区)
特別養護老人ホームやすらぎの郷(糟屋郡志免町)
特別養護老人ホーム豊寿園(北九州市門司区)

PROJECT 9

看護師等の養成事業



赤十字の基本理念である「人道」を軸に、広く社会に貢献できる看護師を養成しています。

日本赤十字九州国際看護大学(宗像市)

！そうだったのか！！

赤十字活動資金の使い道

皆さまからのご寄付は、ここで紹介する「災害救護活動」をはじめ、苦しむ人を救う様々な活動に大切にに使わせていただいています。

皆さまからの
ご寄付
(赤十字活動資金)

日本赤十字社に
ご寄付が届きます

ありがとうございます！



1 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

平時の備え

2

災害救護訓練

被災地で迅速に医療救護活動を展開するため様々な災害を想定した訓練を実施。



ボランティア育成

災害時はもちろん、日頃から地域・学校で活躍するボランティアを育成します。



日頃やっていないことは、いざという時にできない。

3

災害発生

日本赤十字社が
総力をあげて対応



様々な機関と連携します！



被災地へ出発



被災地での活動

4



少しでも体を休めていたくために。



救援物資の配布



命を救うことが大切！



5

未来へつなげる

過去の災害救護で培った経験を忘れずに、未来へつないでいきます。



地域防災力の向上
地域の自助・共助の力を高めるため、いのちを守る知識と技術を伝えるセミナーを実施しています。



こどもたちへの防災教育
未来を担うこどもたちへ、自然災害の正しい知識と、自ら考え生き抜く力を。



救援物資の備蓄

災害時に必要となる物資を、様々な拠点に配備しています。

主な救援物資



救急セット

安眠セット

毛布



すばやく！
正確に！



医療救護班や救援物資は、陸、海、空、様々な手段で被災地へ



ボランティアと共に必要な物資を準備

全国の赤十字が連携し、被災地に向けて職員を派遣する準備をします。

被災地で行う活動



医療救護

被災地の医療ニーズに合わせ、救護所の設置や巡回診療を行います。



こころのケア

災害はこころにも大きな傷を残します。少しでもこころが休まるよう寄り添います。



血液製剤の供給

全国の血液センターが連携し、災害時も必要な血液を安定的に供給します。



今後、発生が予想される
大規模災害に
備えるためにも…



赤十字活動資金に
あたたかいご協力を
お願いします

ご寄付によって行った令和5年度の活動報告

災害時の被災者救護や防災・減災の普及啓発、青少年やボランティアの育成など、いのちを救うさまざまな活動を行っています。

みなさまの
支援が活動を
支えています！



9月9日 救急フェスティバルを開催

救急フェスティバルをイオンモール福岡で開催し、200名を超える方々にご参加いただきました。人形を使っての胸骨圧迫とAEDの体験では、子どもたちだけではなく、一緒に参加した親御さんにも関心をもっていただきました。



釜山×福岡

ホームステイなどを通じた国際交流事業

韓国釜山市の青少年赤十字(RCY)メンバー7名を福岡へ招き、本県支部青少年赤十字(JRC)メンバー7名(ホストファミリー7家庭)がホームステイなどを通じて国際交流を行いました。他国の生活習慣や文化を体感し、豊かな人間性をもった青少年の育成に寄与することを目的としています。



身近な赤十字事業

「いのちと健康を守るため」赤十字はみなさんに寄り添い続けます。

防災セミナーの開催

令和6年は能登半島地震から始まり、地域の皆さんの防災意識が高まっています。赤十字は、自治会や町内会から依頼をいただき、防災・減災の輪を広げる防災セミナーを県内全域で開催しています。



救援物資の分置

赤十字は災害に備え、毛布やタオルケット、医薬品セットを備蓄しており、その多くを各市町村の公民館などに保管し、すぐに配布できます。災害時はもちろん、火災で自宅に住めなくなった方にもお使いいただけるよう整備しています。



活動資金のご協力方法について



お住まいの地域の日赤窓口、自治会や町内会で

- ・お住まいの地域の自治会や町内会を通じて、活動資金へのご協力をお願いしております。
(ご協力は自由意志によるもので、強制ではありません。)
- ・お住まいの市区町村役場等の赤十字窓口でも随時受け付けています。



クレジットカードで

インターネット上でご登録手続きが可能です。
下記検索方法またはQRコードから専用ページ
にアクセスしてください。

※1回あたりのご協力額は
2,000円以上となります。



日赤 LP

SEARCH



銀行口座から の引落しで

口座振替(自動引落)による定期
のご協力が可能です。お申込書
をご希望の方は、当県支部まで
ご連絡ください。ホームページ
からのダウンロードも可能です。

※1回あたりのご協力額は2,000円
以上となります。



お近くの金融機関

(西日本シティ銀行・福岡銀行・郵便局)で

窓口で「専用振込用紙」を
お使いいただいた場合、振
込手数料は免除となりま
す。「専用振込用紙」をご
希望の場合は、お電話ま
たは右記QRコードよりお
申込ください。



日本赤十字社への活動資金のご寄付は、寄付金控除(所得控除)の対象となります。

遺贈・相続財産・香典のご寄付について

近年、「自分が築いた財産を社会のために役立てたい」「故人の想いを汲んで寄付をしたい」というお申し出
が増えています。このような尊いお申し出に答えるために、下記のような様々なご寄付を承っております。

遺贈による寄付

遺言書で財産の全部または一部の受取人として日本赤十字社福岡県支部を指定
することで、福岡県内の赤十字活動に役立てることができます。

相続財産による寄付

ご遺族が相続された財産を相続税の申告期限内にご寄付いただいた場合、寄付された財産に相続税はかかりません。
※「相続財産に関する証明書」を発行するため、ご寄付いただく際に、相続財産寄付であることをお申し出ください。

お香典の寄付

香典返しとして会葬者に品物を贈る代わりに、相当する金額をご寄付される方が増えています。
ご寄付いただいた場合、ご希望によりお礼状を作成いたします。

遺贈・相続財産に
ついてのパンフレットを
ご希望の方は
当県支部まで
ご連絡ください。



赤十字会員について

年額2,000円以上のご協力をいただいた個人、法人(団体)のうち、希望する方々を会員として登録させていただいております。会員のみなさまには、年に数回、情報誌を送付しています。赤十字活動への参加を社会貢献や奉仕活動のひとつとしてお考えいただければ幸いです。

日本赤十字社の活動は、みなさまに支えられています。一人でも多くの方に会員として登録いただけるようお願いいたします。
会員登録に関するお問い合わせは、お住まいの市区町村の日赤窓口または当県支部までご連絡ください。



表彰制度のご案内

ご希望される方に贈呈しております。ご希望の方はご協力時にお申し出ください。

協力会員

目安として
毎年500円以上



特別社員 (会員)

毎年2千円以上で
累計額が2万円
以上の会員



支部長感謝状 支部長表彰状

累計10万円以上
20万円未満



支部長(福岡県知事)

銀色有功章

累計20万円以上
50万円未満



金色有功章

累計50万円以上

